

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2017年 7月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2017年7月1日発行 通巻291号

夏山での低体温症には  
十分な対策を !!

## 7月号目次

・ 目 次	2
・ 6月理事会報告	3
・ 初級登山講習会報告	6
・ 松戸山の会35周年事業報告	7
・ 松戸山の会35周年記念登山報告	8
・ 岳人あびこ1000回記念登山報告	11
・ ハイキング委員会リレーエッセー	12
・ 県連たより	13
・ 7・8月予定表	14

### 表 紙 説 明

岳人あびこは、昨年創立20年を迎え盛大に記念式典を行いました。そして、今年「会主催山行1000回」の区切りのメモリアル山行を達成しました。これは、毎年50回の山行を積み重ねて達成した記録とのこと。当日の参加者には、第1回から1000回を経験した、村松山行部長も参加したとの事です。

岳人あびこの皆さん、そして村松さんおめでとうございます。これからも素晴らしい山行を重ねてください。楽しい山行報告をお待ちしています。(11ページの写真でレジェンドの風格を感じてください。)

## 千葉県連 6月理事会報告

報告者・廣川 登志男  
(君津ケルン県連理事)

【会議日時】 平成 29 年 6 月 15 日 19 時～20 時 30 分

【会 場】 船橋市西部公民館 2 階 第 4 集会室

【議事内容】

### ◆ 委員会活動報告

#### 1. 教育遭難対策委員会 (茂原道標山の会/山崎氏)

##### (1) 初級登山講習実施

① H29.6.10 実施 (09:00～14:30) 鹿沼 岩山にて。

② 参加者・・・11 会 25 名 (一般 14 名+講師 11 名)

・募集時の応募条件=初心・初級者 (入会后 1-2 年) により一般 14 名と低調になった。しかし、会によってはベテランクラスの参加もあり、募集要項のあり方に検討要。

③ 内容 :

1) 駅～日吉神社 読図講習 (特にコンパスの使い方)

2) 神社境内 ストレッチ実施

3) 岩場に移動後、7 点セットを使用しての訓練

4) 救急法・搬出訓練 (神社に戻り)

・救急法・手首骨折時の処置方法

・足首捻挫時の処置方法

5) 搬出訓練

④ 参加者からの反省・要望等の取り纏めはこれから。

##### (2) 事故報告

・発生日時 H29 年 5 月 28 日 10:30 房総 鋸山 南壁

・被災程度 左足首捻挫

・状況 スラブ面リフトクライミング中の墜落設定訓練での事故

#### 2. ハイキング委員会

##### (1) ロングハイク計画中

(2) 全国ハイキング学校実施案内 (募集 30 名) 9 月 16～18 日

① 越後湯沢 : 大源太山・飯士山にて実施予定

② 内容 :

<16 日> 1) ハイキングクラブの現状と会員拡大の取組み (講演)

2) 講習 : 読図と活用法、安全確保について

<17 日> 2 グループに別れての体験登山 大源太山・飯士山

<18 日 (AM)> 1) 目で見える「ハイキング ABC」2) 目で見える「リーダーのあり方」

(全国規模の行事としては、募集人数が 30 名と少ないので、早めに申し込みをして下さい)

### 3. 自然保護委員会

(1)今年は、県連統一クリーンハイクは実施しない。各会独自に実施する。

(2)クリーンハイクについて（議論噴出）

- ・県内の自然保護活動についての状況把握必要では？
- ・県内の「動物による被害状況把握と対応」については、千葉県自体の対応も出遅れており、県連としても県との連携も模索する必要がありそうだ。
- ・松戸山の会：江戸川の清掃について「高齢者」の団体と競合して、会としては中止した。
- ・山砂採取跡地・・・ゴミが捨てられていて問題。→今後どうするか？
- ・ゴミは、山中より下山後の街中の方が多い。→ 〃
- ・県内の自然保護活動についての状況把握が必要では？
- ・千葉県の「野生動物による被害状況把握と対応」は、自体の対応が遅れている。今後県連としても自治体との協議が必要になる。
- ・松戸山の会：江戸川の清掃について「高齢者」の団体と競合したので、会としては中止した。
- ・山砂採取跡地・・・ゴミが捨てられていて問題。→今後どうするか？
- ・山の中より下山後の街なかの方が多い。→ 〃

### 4. 組織委員会

委員会実施予定：7月26日（火）・9月26日（火）・11月28日（火）

県連事務所 19時～21時

※ 各委員会活動の現状・・・各委員会で、委員人数の差による活動の濃淡ある。各会より、県連理事以外の委員の参加を歓迎したい。

→ 本件は、各会に持ち帰って協議してほしい。

<別件1> 新特別基金 全国担当者会議

1. 7月1, 2日開催される（千葉県連からは、松戸・東葛より各1名参加）

2. 給付規定の条件改訂内容について、各会からの意見聴取時間取れず陳謝。

できれば、6月末ころまでに、下記改訂内容に対する、各会で議論&意見の集約お願いしたい

- ・行動対象：<従来>ドア to ドア→ 登山口 to 下山口に改正した。
- ・特別給付上限：<従来>3倍交付→ 上限規制を設定した。
- ・持病について：<従来>勘案事項でなし→金額を変更して交付される。
- ・ゲレンデスキー：<従来>対象外 →<今後>特別な条件をクリアすれば給付可
- ・無事故の報奨金について

現状は、10年間無事故の会に報奨金として還付→ 各会で活動に差があり、不公平感を指摘されてもいる。

各会で意見あれば、一報願いたい（鶴田副理事長）

<別件2> 平和を願うコンサート ～命と平和への想い～

- ・7月8日（土）千葉県教育会館ホール（13時開場、13時30分開演）

・各会に、案内チラシ配布。

<別件3> 平和行進

・7月16日実施(一日行進) 千葉発→八千代ゴール

各コースに参加して下さい。(詳細は古瀬顧問まで)

<別件4>バスハイク等、会行事、市民ハイク等に関連して

旅行業法で認可されていないNPO法人が、役所と共同で企画したハイキングが中止となった事が報告された。事実をしっかりと調査し対応が必要になる。

<別件5>ふれあいハイク

10月1日下見(三浦半島:大楠山)・・・実行委員募集しています。

◆ 特別議題 県連理事・会代表者 合同会議について(文責 県連会長 広木国昭)

・実施日 2017年9月9日(土) 13時~16時

・会場 船橋市西部公民館 2階会議室

・参加者 会代表者・県連理事・県連役員

千葉県連は、長期にわたり役員の欠員状態が続いている。この現状を打開するために「6会合同会議」(3回)を実施した。(・こまくさHC・ちば山の会  
・松戸山の会・ふわくHC・船橋勤労者山の会・東葛山の会)

会議の目的は、・県連役員選出ルールを確認する ・6会から役員を選出する事である。県連の現状、役員選出の経緯等について意見交換を行い、共通の認識をもって役員選出について討議を進めた。しかし、自会からの役員選出については、2会(船橋勤労者山の会・松戸山の会)は候補者を選出したが、他の4会からは選出がなかった。これは、各会の現状や問題等が優先されたと思われる。

その結果、6会合同会議の総意として、役員の選出は、県連理事会に差し戻す事を選択した。2月県連理事会に報告し、引き続き次年度総会に向けて取り組んで行くことを確認した。

2018年3月に予定している、第52期定時総会に向けて役員選出は最重要課題であり、千葉県連の生き残りをかけて克服しなければならない。

各会・会員の前向きな協力をお願いします。

・会代表者・県連理事から出された意見。

- 1、参加6会の現状、県連活動に対する意識などに大きな差がある。
- 2、自会の役員選出も困難な状況で、県連役員の選出は出来ない。
- 3、会の高齢化や、若年層の役員離れが、会運営に支障が生じている。
- 4、県連活動、県連の必要性が会員、会役員に理解されていない。
- 5、6会以外からの、役員選出も考慮すべきである。
- 7、会員数の多い会からの選出をお願いしたい。
- 8、県連組織の改正も必要ではないか。
- 9、役員の任務を見直し、負担の少ない運営を検討する。
- 10、会員・会から見える県連活動を実施する

以上

## 2017 初級登山講習会報告

教育遭対委員会

去る6月10日(土)栃木県の鹿沼・岩山にて、主に各会の初級者を対象とした講習会を救助隊の協力を得て実施しました。

昨年と同じ場所で、日帰りで行ったので報告します。

参加会は、11会(シリウス☆山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 茂原道標山の会 船橋勤労者山の会 君津ケルン山の会 松戸山の会 かがりび山の会 まつど遠足クラブ1年さくら組 東葛山の会 ちば山の会 山の会「岳樺クラブ」)で、25名(受講者15名+講師・スタッフ10名)の参加がありました。講習は、受講者を3班に分けて講師・スタッフがサポートして実施しました。

街中での地図読み講習から始まり、登山口でのストレッチ体操を実施後、初級の岩場で登下降訓練、7点セットを使用したロープワークの基礎訓練、岩場のトラバース等の訓練と講習を行った。

その後、日吉神社前に戻り、講師の指導で救急法の講習を実施した。

・捻挫時のテーピング ・骨折時の応急処置を各自が実施。・更に雨具・ストック・ザックを使った搬出方法を講師がデモンストレーションを行い実践した。机上での講習とは違い、実際の岩場と山の中での講習は臨場感が有り、また、「会単位では取り組みが難しいので大いに役立った。」等の感想も出されて、概ね好評だった。

尚、今回の募集は初心・初級者(入会后1~2年)を中心としましたが、結果的に経験者も受け入れての実施となった。募集案内と募集方法については、次年度の課題となりました。

また、今年度は救助隊のアシストを受けながら、遭対委員会スタッフが積極的に実技の講習に関わった事は、今後につなげる大きな成果となりました。

以上

遭対委員会の、正式名は「教育遭難対策委員会」と言います。

で、何をやっているのか? 何のことはない、読んだ通りです。

県連の、登山に関する講習会や学習会の計画から実践を担当しています。

主な行事は、

- ・ 初級登山講習会・・・登山の初心者や自信のない会員を対象に、安全に登山を楽しむための、理論と技術の講習会です。
- ・ 遭難防止交流集会・・・会で発生した事故や遭難を報告し、同種事故を起こさないための学習と交流を実施する。各会の山行管理等についての意見交換を通して事故防止・安全登山の意識を高める。

## 松戸山の会創立35周年記念事業報告

松戸山の会 広川 久晴

### 事業内容

- 1、記念誌発行
  - ・会員同士が会の目的や歴史を共有する機会を作る。
  - ・松戸山の会創設から35年間分の年表を記載する。
  - ・松戸山の会百名山アンケート結果とフォトコンテスト優秀作品を発表、掲載。
- 2、海外記念登山
  - ・韓国済州島ハルラ山、5月29日～6月1日実施
- 3、国内記念登山
  - ・秋田駒ヶ岳・姫神山、7月20日～7月21日予定
- 4、記念品
  - ・記念Tシャツを希望者が購入、5月24日配布
  - ・記念バンダナを会員全員に配布予定
- 5、フォトコンテスト
  - ・日本写真協会会員による講習、及び主宰団体による写真審査
- 6、レセプション
  - 11月12日予定

松戸山の会が創立35周年を迎えました。  
千葉県連盟を代表して、お祝いとお礼と少しのお願いをします。そして、筆者の感じている松戸山の会を紹介します。

松戸山の会は、松戸で老舗の会として地域に根差した活動、会員本位の活動を積み重ねて来ました。

その活動の中心は、会員の要求に応えた豊富な山行だと思えます。松戸山の会は本当に山の好きな仲間の集う会ですが、山を離れても仲間を感じられる会です。地道な活動で会員の結束を高め、共通の認識で会運営に取り組んでいます。

その35年の成果が、会員数100名を超え、登山時報の購読数は、県連では群を抜いて多く、その取り組みは全国連盟でも評価されています。

松戸山の会は、山の会として理想の会だと思います。この会を35年支えてきた多くの先輩たちの功績も聞いています。

今後の会運営は厳しくなると思われまます。

現在、多くの会が直面している・会員の高齢化・若年層の組織ばなれ・役員問題等を克服して、松戸山の会が増々発展する事を期待しています。そして今以上に千葉県連に力を下さい。お願いします。

千葉県連 広木 国昭

# 松戸山の会創立 35 周年記念海外登山

## 韓国 ハルラ山

30 日登頂組は太田一寿記、他は広川久晴記

- ◆ 山行日：2017年5月30日(火)・31日(水)
- ◆ 参加者：21人、うち男性6人、女性15人
- ◆ 行程：5/29(月)成田空港9:45→12:25 済州、  
市内観光の後ニュークラウンホテル泊
- ・30(火) ホテル6:00＝市内で朝食、〔登頂組〕城板岳登山口7:40－10:40 チンダルレ小屋昼食11:30－13:00 ハルラ山白鹿潭山頂13:30－17:40 観音寺登山口、〔展望組〕霊室支所バス停8:40－9:25 霊室登山口9:35－12:15 ウィッセオルム小屋昼食13:25－15:50 オリモク登山口
- ・31(水) オプションの日〔展望組〕ホテル8:30＝霊室支所バス停9:25－霊室登山口10:25－12:30 ウィッセオルム小屋昼食12:55－14:55 オリモク登山口〔牛島オルレ組〕城山浦港よりフェリーで牛島にわたり島内観光
- ・6/1(木) 世界遺産・城山日出峰と万丈窟等観光、済州18:00→20:15 成田空港で解散
- ・基本費用96,910円、31日のオプションは展望15,000円、牛島オルレ12,000円、これ以外は小遣い5000円、土産代は各自別。

### 30 日登頂組

チェジュ(済州)島は、周囲180kmで日本の香川県と同じくらいの広さです。ハルラ山は、火山の噴火により生まれた標高1950mで韓国の最高峰です。

私達は幾つかのコースの中で一番ポピュラーな城板岳コースから登頂するコースを選びました。登山口は標高760m。山頂は1950mですが、自然保護の観点から登頂できるのは1935mの広い展望台デッキまででした。標高差は丹沢の大倉尾根くらいです。

登山口の広場にはすでに多数の大型バスが駐車していました。いよいよ2人の山岳ガイドに導かれながら出発です。1人のガイドは先頭に、他の1人には最後尾に付いてもらい、万一体



30 日登頂組城板岳登山口

調が悪くなった人が出たらこのガイドに下山を誘導してもらおう予定でしたが、幸い全員が無事全コース完登できました。

<登り>

登山道は良く整備されていて、危険箇所はほとんど無いですが、大きなゴロ石が全面を覆い、足の置き場を探りながらの歩行です。途中多数の木道や木組みで補強され



30日登頂組ハルラ山白鹿潭山頂

ていますが、足元注意で周囲を見渡す余裕がありません。高校の修学旅行生（後で聞いた話）の集団が次々と我々を追い越して行きました。途中売店、トイレが整備されていました。山頂直下の急な登りは全て木造階段です。山頂の広い展望台デッキには高校生等が鈴なりにビックリです。日本と違い中高年の登山者は皆無でした。（修学旅行生を避けたのか？）山頂の展望は抜群。山頂部は大きな火口になっており、壮大な景観を楽しみました。

<下山>

下りは、観音寺コースです。このコースは、日本の山に似ていて下山直後は急激な階段でしたが途中から緩やかな下りとなり多少の余裕も出てきたが何しろコースが長く設定タイムに追われながらの下山でした。

途中、中学生の一団が休憩している側を抜けると日本語で「ガンバって」と沢山の声がかかりました。ガイドに聞くと、年配者の一行を激励してくれているとのことでした。沢山のコース経由下山口に到着したのは設定タイムの10分過ぎの17時40分でした。

## 30日展望組

登頂組を降ろしたバスで展望組は霊室登山口に向かいます。ただ、大型バスは登山口手前の支所までしか入らないので登山口まで車道脇を歩きます。K.Tさんはそこで疲れてしまい、以後ペースが上がりませんでした。ただ登頂組の下山と合わせるので時間はたっぷりあります。ゆっくり登ればいいのです。ツツジやコザクラ・キンバイなどの花

を見ながらガイドの金さんと5人で登りました。数カ所に展望台があり雄大な西壁とツツジの群落を眺めることができます。ハルラ山は登るより見る山かもしれません。

私達の最高点は標高1700mのウィッセオルム小屋、ここで昼食休憩です。ここには売店やトイレなどがあり、大勢の人が休んでいました。私達もカップラーメンと弁当の海苔巻きを頂き、それでも時間があるのでお昼寝タイムにしました。

下山は樹林帯の中を下ります。笹が多く、日本の山を歩いている感じです。九州の少し先なので当然でしょう。登山道に沿って日本のミカン畑などでよく見るミニモノレールの線路が敷かれています。なんと一度モノレールが下って行きました。機関車を含め3両編成で荷物と5人の人が乗っていました。下山口には現地添乗員の洪さんが待っていてくれ、皆で登頂組の下山口に向かいました。



30日展望組ウィッセオルム小屋にて

## 後半は観光

初日は3時間程の市内観光しかできませんでしたが、3日目はオプションの日で終日使えます。牛島にフェリーで渡り、島内を歩く牛島オルレコースと、西壁展望コースに分かれ楽しみました。西壁展望コースは30日と同じコースです。

最終日は朝から夕方まで観光。正房滝・城山日出峰・甘鯛塩焼きの昼食・万丈窟・土産物屋を回り夜の便で全員無事帰国しました。

昨年10月より準備を始めた創立35周年記念の海外登山、山名選定・旅行社選定を経てやっと実施することができました。食事もおいしく、参加者からは楽しかった、との言葉も頂き満足しています。最後に、実行委員のOさん・Eさん・H.Aさん・Sさん、横断幕を作ったKさん、写真班で大活躍したMさん・Aさん、終始協力して頂いた参加者の皆さん、壮行会までして送り出して下さった会員の皆さん、トラベルギャラリー社のSさん、そして4日間楽しく案内して頂いた韓飛旅行社の洪さん、に感謝申し上げます。

## 岳人あびこ 創立 21 年

### 主催山行 1000 回達成！！お祝い山行報告

岳人あびこ会長 高橋芳恵

平成 29 年 5 月 14 日 高水三山において当会主催山行が 1000 回に達しました。実に 21 年目を経過し、毎年 50 回の山行をほぼコンスタントに重ねてきました。当日は新リーダーの林敏生さんが担当し、1 回から 1000 回を経験した当会のレジェンド、山行部長村松敏彦さんも参加して達成を祝いました。



高水三山で 1000 回達成

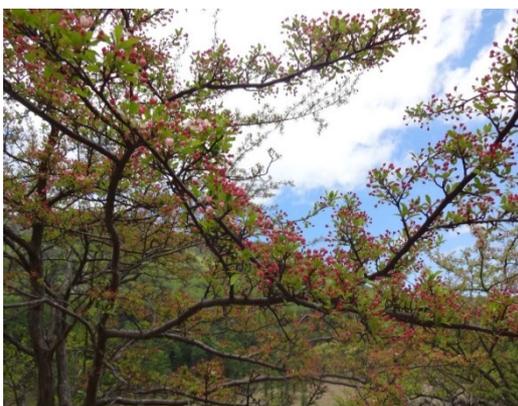


レジェンド村松

### 【1000 回達成祝いのイベントを日光湯元キャンプ場で開催】

1000 回山行達成を祝うイベントは改めて 6 月 17 日、会員 27 名が参加し、日光湯元キャンプ場で行いました。当日は絶好の登山日和で午前中は日帰り組、テント組に分かれて切込刈込湖やクリンソウ咲く千手ヶ浜を散策し、午後 2:30 全員そろって祝賀会を開催し、おいしいお酒や豪華な料理で大いに盛り上がりました。

次の 2000 回達成に向けて会員相互の健康と登山の継続を誓い、確かな技術の習得と安全登山をそして何より楽しい会であることを目標に新たな始動を開始しました。



ズミの花



切込湖 瀬沼付近

## 琴平丘陵から羊山公園

東葛山の会 八巻幸子

何年か前友達と一緒に秩父札所巡りをしました。28番札所の橋立堂の鍾乳洞には入りませんでした。今回入ってみました、中はそんなに広くなく、気を付けないと頭や膝をぶつけそうになったりしながら見学しました。

その後27番札所大淵寺まで歩き、裏山に階段状の登り口があり紫色の大根草が咲いていました。15分位で見上げるような護国大観音像が立っているところに到着。山道を登ったり、下りたりしながら歩いていると岩を背にして立っている立派な建物（26番円融寺奥の院）懸崖舞台造りの岩井堂に着きました。

そこから少して今度は急な鉄の階段があり、修験堂に到着。そこから20分ほどで長者屋敷跡(399m)に、小高い所にあり休憩所もありました。このコースで一番高いところです。また山道には咲き始めのツツジ、スミレ等がありました。民家のある所に出て、昇り返して20分位で羊山公園に着きました。4月の終わりころに行ったのですが、早咲きの芝桜は満開でした。公園からは大きく武甲山が見えました。2時間30分位のハイキングでした。



山行報告を投稿して下さい。

あなたの山行・仲間との山行・会山行など、山行ならばどんな山行でもOKです。楽しかった思い出、厳しかった思い出、ヒヤリ・ハットの思い出、思い出したくない思い出、どんな思い出でもOKです。

記念のワンショットを、一枚か二枚、自分で良いと思えば、それを付けて下さい。あまり深く考えないで、気軽に送ってください。

◆ 送り先：[danohiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danohiro@zpost.plala.or.jp) 広木まで お願いします

# 県連たより

## 千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX： 043-306-1190  
Eメール：[rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分  
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax：043-271-4704  
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
発行責任者：広木 国昭 

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」は、定時総会で 2017 年度は、定期的な支援活動は実施しない事になりました。  
会で実施する、支援活動は引き続き支援して行きます。  
会の仲間と、東北の山・民宿の料理被災地の復興視察を合わせて計画してはどうでしょうか？
- ◎「ちば労ゆう」への問い合わせは  
千葉県連盟ホームページから  
「ちば労山ゆう」にお願いします
- ◎「食べて復興支援」  
気仙沼・石巻の海産物の販売に取り組んでいます。  
下記に連絡をお願いします。  
広木 国昭  
Eメールアドレス  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

「第4回福島の子供たちと夏休み」にご協力をお願いします。

今年は、都連盟主催で、8月1日(火)～3日(木)奥多摩で開催されます。地震・津波・原発事故で避難生活を送っている、福島の子供たちに楽しい夏休みをプレゼントしたいと思います。千葉県連は、支援カンパに取り組んでいます。ご協力をお願いします。

### 【編集後記】

- ・ 今月も原稿が集まらなかった。岳人あびこと松戸山の会からの記念行事報告で助かりました。ご協力が身に染みました。
- ・ 県連は、役員会・理事会・委員会を全て休みます。理事・役員の皆さん、会の仲間と山行を共にして下さい。そして、夏山を楽しんで下さい。  
8月休んだ分、9月は過密行事が予定されています。
- ・ 7月1日(土)・2日(日)に、全国連盟新特別委員会主催の「新特別基金担当者全国会議」が開催され、県連より2名が参加しました。8月号に参加報告を掲載します。(参加者の皆さんよろしくをお願いします)
- ・ 9月9日に県連理事・会代表者合同会議が実施されます。  
これは、2018年3月に予定している、第52期定時総会に向けた準備作業の始まりです。ちばニュースで情報を発信しますのでキャッチして下さい。

県連活動予定表

7月		行事予定	8月		行事予定
1	土	全国基金担当者会議	1	火	
2	日	〃	2	水	8月は 県連活動は全て 休みます・会の仲間と山行を楽しんで下さい
3	月		3	木	
4	火	県連役員会	4	金	
5	水		5	土	
6	木		6	日	
7	金		7	月	
8	土		8	火	
9	日		9	水	
10	月		10	木	
11	火		11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	
17	月		17	木	
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	県連理事会	20	日	
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日		23	水	
24	月		24	木	
25	火	組織委員会(県連事務所)	25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	
28	金		28	月	
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月		31	木	

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟  
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
 レジデンス幕張台 101号室  
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)  
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)  
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで